

県民のまもり

KANAGAWA PREFECTURAL POLICE



第317号

発行 令和5年12月
神奈川県警察本部
総務部広報県民課
電話 045-211-1212

<https://www.police.pref.kanagawa.jp/>

安全な登山のために



神奈川県は、国内でも登山時の事故が多い県です。楽しい登山は、安全の備えから始まります。次の「**最低限これだけは準備を**」との項目を、登山準備の参考になさってください。

1 事前の情報収集

山の地形や、過去の遭難事例などを調べると、装備やルート選びの参考になります。天気予報は、登山中もチェックしましょう。

2 無理のない登山計画と「登山計画書」の提出

年齢や技量に見合った山やコースを選定し、明るいうちに下山しましょう。
「登山計画書」は、遭難時に救助の大きな手掛かりとなります。詳しくはこちらから ⇒



県警察HP

3 万全の装備

次の5つは、必需品です。万全の装備に、必ず加えましょう。



紙の地図

分かりやすく
電池いらす



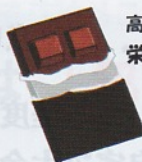
携帯電話と予備電池

いざと
いう時に通報



ヘッドライト

下山が遅れたら
足元が真暗！



非常食

高カロリーで
栄養を補給



カッパ

山の天気は
変わります
晴れでもカッパ！

4 冷静な状況判断と慎重な行動

山の天気は急変します。疲労などで突然に体調を崩すこともあり得ます。「せっかく来たから」と無理をするのは危険です。中止や引き返す判断は、早めに行いましょう。

5 下山こそ注意を

遭難の多くは、下山時に起きています。足腰が疲れ、転倒や滑落の危険が高まるのです。

また、道に迷って勘で進むと、突然に崖から落ち、遭難することがあります。「迷ったら、元の道へ」、又は「木々のない開けた場所」で、救急隊に発見されやすい状態で、体力を温存しましょう。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「県民のまもり」は、神奈川県警察ホームページでもご覧になれます。

運転を続けるか、卒業か。高齢者の運転のお悩み相談はこちら

安全運転相談室からのご案内

「運転するのが不安になってきたなあ。
この間は、ヒヤッとしたし。
運転免許、返納しなきゃだめかなあ。」



悩んだら、

#8080（シャープハレバレ）に

電話で相談できますよ！

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
（祝日及び年末年始の休日を除く）

まずは相談 気持ちハレバレ

運転免許証を返したい方、運転経歴証明書の交付を受けることができます

「**高齢のため、運転が不安……**」という方が、運転免許証を自主的に返納できるのが、
「運転免許の自主返納制度」です。

また、「運転免許証を身分証明書類にしているのだから、返納は困る。」
という方は、運転免許の全部を返納すると、公的な身分証明書として
使える「**運転経歴証明書**」の交付を受けることもできます。



運転経歴証明書を提示すると、様々なお店や企業
などで特典を受けることができます。

受けられる優待サービスを見てみましょう！



利用できる企業等は？

免許証に「サポートカー限定」の条件が付けられます



安全運転サポート車（サポカー）は、目の前の歩行者や障害物などを
感知して、ドライバーに警告したり、自動でブレーキをかけたり、
アクセルペダルを踏み間違えた時に急発進を抑えるなどの機能が
ある車です。



お持ちの運転免許に**サポートカー限定条件**を付与すると、

運転できる対象車両をサポカーのみに限定することができます。

試験等はなく、普通免許をお持ちの方であれば、年齢を問わず、どなたでも
条件の付与が可能です。



※ サポートカー限定条件付免許の**対象車両リスト**は、二次元コードから確認できます。（警察庁ウェブサイト） ↑

詳しくは運転免許センター（045-365-3111）又は 神奈川県内の各警察署まで